



コ 社会の仕組みと公共施設	【いろいろな店】			エ 産業と生活	(イ) 身近な産業と生活に関わる学習活動	(イ) 生活を支える事業に関わる学習活動 ※「イ公共施設と制度」や他の教科との関連 ※ごみ処理に関して、3R(リユース, リデュース, リサイクル)の学習と、職業・家庭科「C消費生活・環境」の「イ環境に配慮した生活」で学習するごみの分別との関連	小3社会 (2) 「地域に見られる生産や販売の仕事」	
	活動内容	・店の種類が分かること ・店の名前を言うこと ・それぞれの店で売っている品物が分かること			知 技	⑦販売の仕事は、消費者のことを考え、工夫して行われていることが分かること。		⑦水道、電気及びガスなどの生活を支える事業は、安全で安定的に供給や処理できるよう実施されていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解すること。
	ポイント				思 判 表	⑧消費者の願いや他地域との関わりなどに着目して、販売の仕事に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現すること。		⑧供給や処理の仕組みや関係機関の協力などに着目して、水道、電気及びガスなどの生活を支える事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現すること。
			販売する側の工夫と消費者の願い	内容	・販売の仕事に従事している人が、商品を購入する消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう工夫していること <b>社会 or 生単(高等部作業学習や地域の作業所などの見学等との関連)： はたらく人とわたしたちの暮らし ②店ではたらく人と仕事</b> 販売の仕事は、消費者のことを考え、工夫して行われていることが分かる。			
	生活単元学習：自動販売機の利用	生活単元学習：買い物学習		作業学習：作業販売				
	ポイント	種類の店やそこで販売している商品に興味をもつこと	商品はどこで生産されたのか、どこから運ばれたのかなどを調べ、工場や農家などへの関心を高めること					
キ 手伝い・仕事	【掃除】				生活を支える事業		小4社会 (2) 「人々の健康や生活環境を支える事業」	
	活動内容	・自分の出したごみを拾うこと ・身の回りにあるごみを拾って捨てること ・掃除道具を使って簡単な掃除をすること ・任された場所の掃除をすること			内容	・実際に浄水場や清掃工場などの施設を見学したり、聞き取りをしたりすること ・「イ環境に配慮した生活」で学習するごみの分別と関連： <b>社会(清掃工場の見学) or 生単(ごみ処理に関しては、3Rの学習と「職業・家庭」で扱う「C消費生活・環境」の「イ環境に配慮した生活」で学習するごみの分別と関連)： 住みよいくらしをつくる ①水はどこから ②ごみの処理と利用</b> 学校や家庭で、節水やごみの分別の必要性を感じて取り組もうとする。 ※「イ公共施設と制度」との関連		
	ポイント	児童が力をしないように安全に留意すること 大きなごみをごみ箱に入れるよう	教室内の掃除に加え、分担された場所の掃除をすること 掃除用具の名称や使い方が分かり、できるだけ一人で、簡単な掃除をすること それぞれの場所に適した掃除の方法や手順、道具の使い方などを身に付け		ポイント	「イ公共施設と制度」や他の教科と関連させながら学		等横断的に指導すること)
	日常生活の指導：係活動(ごみ捨て)	生活単元学習：清掃活動、調理や制作など作る活動後の掃除		作業学習：作業終了後の掃除、清掃班				